

## 「オフグリッド電源ポール」について

ミライト・ワンでは、メンテナンス不要な次世代型ストリートライト「オフグリッド電源ポール」を提供しています。オフグリッド電源ポールは、ソーラーシートとバッテリーで作動するため電源が不要で、設置にスペースを取らず、強風に強いことが特徴です。

架線の引けない山道や駐車場などでの照明確保には、商用電源なしで利用できる照明設備が必要です。ミライトが提供する「オフグリッド電源ポール」は、高い発電効率を誇るソーラーシートと、高い安全性を有するバッテリーを採用し、独立電源で利用可能な照明を確保することができるため、山道や駐車場などの無電化地域を明るく照らし、安心安全な環境を作り出します。同電源ポールは、100%再生可能エネルギーで稼働するため、環境にも配慮しています。また、平面型のソーラーパネルとは異なり、円筒型構造を採用しているため省スペースで設置することが可能です。さらに、雪や落ち葉が積もることもないため、定期的なメンテナンスが必要なく、安定した発電性能を発揮します。架線がなく、ポールだけのスリムなデザインのため、強風にも強く、周囲の景観に自然に溶け込みます。

「オフグリッド電源ポール」は、LED照明を設置して無電化地域のストリートライトとして活用するほか、カメラやセンサーを設置することも可能です。例えば、傾斜計センサーを搭載した「オフグリッド電源ポール」を山間部に設置し、斜面に多数のセンサーを配置し無線で接続することにより多点の傾斜を測定します。カメラやミリ波水位計を搭載した電源ポールを河川に設置して、水位をモニタリングすることができます。また、「オフグリッド電源ポール」をデジタルサイネージと連携させることで、災害時の防災アラートなどを、サイネージから発信することも可能です。最近では、モニタリングカメラを搭載することで、防犯カメラとしての用途だけではなく、河川の氾濫監視やがけ崩れなど、水害や土砂災害時などに広く活用することができます。

また、日射・風向風速・温湿度気圧・雨量など複合した気象情報をセンシングし災害に備えます。加えて、街頭架線の引けない山道や駐車場など、どこでも4W~20Wクラスの灯りで照らします。ミライト・ワンは、「オフグリッド電源ポール」の提供を通じて、街や社会の安心安全に貢献します。

(2023年10月現在)